

○事業所名	クローバーの森			
○保護者評価実施期間	R8年 1月5日		～	R8年 1月23 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○従業者評価実施期間	R8年 1月5日		～	R8年 1月23 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	8年 2月 9日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・フィードバックを行い、全職員が（定期的にもアルバイトも）職員間で利用児の共通理解を図り子どもたちの心理を探りながら寄り添う姿勢を大切にしている。	・療育後フィードバックを行っている。 ・保育士以外のスタッフでも定期的に集まってもらい情報を共有し支援につなげている。	・アルバイトも含めたスタッフとの情報交換及び情報共有を今後も継続していく。
2	・自宅や保育園、幼稚園などの送迎	・保護者の方の負担の軽減になるよう取り組んでいる。	・安全面に注意しながら継続していく。
3	・内部研修（オンライン研修）、外部研修の参加により職員のスキルアップを行っている。	・可能な限りの外部研修の受講 ・自身の時間調整で可能な限りオンライン研修の取り組みを行っている。	・最新の情報をキャッチしながら必要と思われる研修を可能な限り受講する ・オンライン研修の取り組み（自信のスキルアップ）

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員の専門性	・保育士資格所有者が多いので福祉の専門的知識に欠ける。	・上記記載にある通り、内部オンライン研修を受講しスキルアップにつなげている。今後も継続していく。
2	・保護者の相談	・保護者とゆっくり話す（相談を受けるなど）機会が少ない。	・月のおたよりにも載せているが、こまめに面談の機会をもてるよう発信していく。
3	・療育物のマンネリ化	・療育教材がマンネリ化しつつあるように感じている。	・次年度から教材担当を決めて月に一度療育教材についての案を出すことにより教材を増やしていきマンネリ化を防ぐ。